



# 高崎中学校だより

生徒が生き生きと活躍する「生徒が主役の高中」



6/27 (火) 宮日新聞  
「みんなの学校」に掲載

6月27日(火) 宮日新聞「みんなの学校」に高崎中学校の記事が掲載されました。

3年生は、生徒総会、TZミーティング、中総体、実力テストと忙しい中、原稿を仕上げてくれました。どの記事も「高崎愛」に溢れた内容となっています。写真は新聞に掲載された生徒会役員の皆さんです。

高崎中を誇りに思い、地域に貢献し、地域を元気にしようと頑張っています。新聞の記事が地域の皆様に少しでも元氣と勇気を届けられたらと思います。



## 1学期期末テストの様子から

6月28日(水)、29日(木)に1学期期末テストを行いました。

3年生は、中総体も終わり、一部の生徒を除き部活動も終了し、いよいよ受験モードです。26日(月)27日(火)の放課後、自主的に学校に残り、テスト勉強をする3年生がいました。真剣にテスト勉強に取り組む姿は、受験生の自覚を感じると共に、テストに対する姿勢は、後輩への良き手本になります。

「夏を制するものは、受験を制す」と言われます。この夏の努力が実を結び、進路実現することを願っています。



## 7月3日(月)チャレンジ弁当

7月3日(月)は「チャレンジ弁当」の日となっています。生徒それぞれが自分にあった計画を立てて弁当づくりを行います。保護者の皆様もお忙しいと思いますが、ご協力よろしくお願い申し上げます。



## 教頭の霧島日記

～「あなたに贈る21の言葉」～

水谷 もりひと著より

都城支会教頭会で「日本講演新聞」の水谷もりひと編集長の講話を聞く機会がありました。

生徒には「頑張れ」「やればできる」と励ましているものの、大人になると自分のモチベーションを上げたり、心を整えたりするためには工夫が必要です。(私だけかもしれませんが…)

著書の02：がんばっているあなたへ「自分が抱えている今の苦悩なんて取るに足りない微々たるもの そう思った。」では、57歳で高校教師を早期退職し、障がい者のための施設「のらねこ学かん」を立ち上げた塩見志満子さんのお話が紹介されています。二人のお子さんを亡くし、壮絶な人生を歩んで来られた塩見さんの生き方に、水谷さんは「自分はまだまだ甘い」「もっともっと頑張れる」と思ったそうです。

自分と違う生き方から学ぶことの大切さを改めて感じました。

SNS全盛の時代、学校でもICT活用は必修ですが、生の声を聞くこと、読書から得られることは、心の奥深くに響くものがあります。

この夏、素敵な本との出逢いや普段はできない体験を通して、子どもたちが成長することを願っています。まずは、私たち大人が元気になるために講演会への参加や読書に挑戦してみませんか。

## セクハラ相談員について

令和4年4月に「教職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が施行されました。本校でも生徒へのわいせつ行為等を防止するための「セクハラ相談窓口」を以下の通りに設けています。何かありましたら、遠慮なくご相談ください。

◎校内セクハラ相談

- ・校長、教頭、野崎先生(教務主任)  
新村先生(事務)、坂元先生(養護教諭)  
PTA副会長(高坂さん、相良さん)

◎校外セクハラ相談

- ・都城市教育委員会青少年指導担当  
0986-23-2186